

發行編輯人 川崎文治 福島縣石城郡平町長橋町廿五番地 發行所 常盤毎日新聞社

定額 一月五元 半年三十元 一年六十元 郵費在內 廣告 五字十二行 一日五元 印刷 印刷所 本館専屬 印刷機 印刷機

刊夕日二十二月七年

常盤文藝

回顧 短歌 吾妻奈美夫

回顧 吾妻奈美夫 願る去る年の今日の日の共に語りし夜半の思ひ出

思ひ見る君が顔懐かしき別れ来しより今は一年打ち解けて共に語りし湯の夜も今は昔となりけるかな

戀ならぬ戀の思ひ出思ふ時淋し涙に頬は濡れしも

自等の苦しみ過去を打ち解けて共に泣きたる山の湯の宿

白銀町 七圓五十錢 商店向 拾八圓 住宅向 (二階) 拾八圓 住宅向 (付) 八圓半

貸地 舊城跡本丸・二丸 賣地 五丁目表通り 加藤營業所 平白銀町電話三三三番

粹上物品履 御求のめ際 は 是非 三井物店

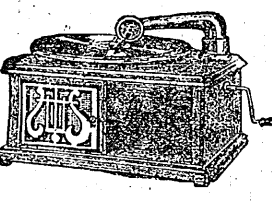
柏傳の 刺子染物 柏屋染物店

内科。胃腸科。婦人科 十二指腸虫病科 花柳病科。X線科 松村病院 平町南町電話一〇七番

内科。外科。耳鼻 咽喉科。花柳病科 高久病院 平町南町電話五二三番

内科。外科。花柳病科 鼻咽喉科。婦人科 赤心堂病院 平町南町電話四七五番

ユ一ホノ號 特價提供 四十五圓



會田時計店 電話三六三

目正明丹 代價拾錢 藤田家傳

大蒲焼ウナ井 來る貳十八日はウシの日 多少に不拘御用仰願上候

モト一ル 電氣機械器具各種材料販賣 電燈電力工事設計並ニ請負 製作ハ日立製作所

白米 遠い所からも御遠慮なく電話一六〇番を利用して御用命下さい、敏速に然も親切にそして樹目の充分な良質の白米を早速お送りいたします

関内精米所 店主 關内信二郎 平町長橋町三七 電話(呼一六〇番)

を始めました 『うなぎ』は卅五錢ご 召し上がつて初めて當家の勉強振りを賞めて戴けると確信します

砂糖販賣開始披露 『毎度格別の御引立を蒙り奉萬謝候陳者今回東京大問屋と特約仕り砂糖販賣開始仕り候御小賣共大勉強仕可候に付多少に不拘御用命仰付被下度候』

社會的の缺陷 田中五郎 我國の政治組織及社會上に大なる缺陷あるは何人も之を認むる處であるこれを例へば學生に就て見ても小學校を卒業せるもの、中學校に入學せんとすれば容易に入るを得ず更に其れ以上の高等學校専門學校等に入學せんとすればこれ又容易に入ることを得ざる狀況にあるこれを爲めに學生は其の頭腦を痛め遂に其の一生を誤るに至ることも尠くないのである更に卒業せるものが就職に當つて如何と云ふ

就職難と云ふものが前途に横たはつて居ると同時に偶々何等か職を求めて努力せんとすれば働いても働いても食へぬと云ふ狀態であつて努力に對する報酬と云ふものは全くこれを期待し得られぬと云ふのであつて見れば其處に不満あり不安を起し遂には國家社會に累をなすの狀況をも出現すると云ふことになる人生の目的は何なりやと云ふ問ひに對して先人も既に喝破せる處ありと雖も其の生活上に於て幸福を希ふと云ふ點に至つては何等變化はないのである然るに努力の結果招致すべき善なる幸福を齎さざるのみか如何に努力するも其生を保つて行けぬと云ふことになるならばここに或は忌むべき形勢を招來する様になりはせんかと云ふことを恐るゝのである

一冊の代金で 御希望通りな 五冊の雜誌が 自由に讀める 川崎巡文庫 (申込次第規則書進呈)

株式平銀行 第五期定期報告 貸借對照表

右ノ通り候也 大正拾四年七月 株式平銀行

常務取締役 山崎與三郎 取締役 木村清治 取締役 堀江正直 取締役 高岡唯一郎 取締役 白井博之 常任監査役 新田目善次郎 監査役 安島重三郎 監査役 安島重三郎 追而監査役選舉ノ結果新田目善次郎安島重三郎重任青田禮次郎當選就任セリ

本紙は讀者諸彦の御愛顧に依り近々五百號に達する事となりました爲め是れを記念し將來の活躍を期する計劃にて左記三つの企てを試みる豫定です、詳細は順次號を追ふて報導致しますが取り敢えず御知らせ旁々豫め御聲援を願ひ致して置きます

自轉車遠乗會 ハイ取り競争 十字語判斷

期待さるる... 本社の三大計畫

本紙五百號紀念の爲め三つの催しを試みる計劃である事は別項處載の如くであるが各方面の讀者から如何なる方法でイッ是れを執行するかと云ふ様な問ひ合せが瀕りに來るので豫め是れを紹介すれば左記の如である

自轉車遠乗會は体育的な催しとして期待されて居る模様であり本社も其精神に則つて是れを催す事となつたのであるが期日は來月九日を選んで、同日は日曜で且つ丑の日に當り海岸は頗る賑ひを呈する事であらうが自轉車遠乗會は特に此日を

ゼヒ共
エツ道路に
改修速成運動
交通頻繁なる大工町鐵道踏切を仙台驛構内の如くエツキス道路(一名跨線橋道路)となし遲滞なく車馬の交通に便ならしめんと鐵道以北の區民が熱望しつつあるは既報の如くであるが是れが爲め區長山崎喜正氏は青年分團長清水三郎氏と共に此程平保線區事務所に主任林四郎氏を訪ね懇談せる結果林主任も大いに其必要を認め水戸保線事務所を遷すべく快諾を與へ又町會議員青沼鋒太郎氏等は廿一日大

の當りから三日間内に各戸が捕獲した蠅を一定の場處に持ち集り一升以上にて最高の捕獲者一名に賞金を呈すると共に各區の捕獲數を比較し第一位を占めた區に對し衛生費の一部を充つべく賞金を贈る計劃にて具體的の條項は紙を追ふて詳報さるゝ本紙の記事に依つて承知され度し

自強術講習
小名濱に開く
縣立警城中學校主催第四回青年自強術講習會は八月二日から一週間小名濱築港に於て開催されるが講師とし

磐中主催で
自強術講習
小名濱に開く
縣立警城中學校主催第四回青年自強術講習會は八月二日から一週間小名濱築港に於て開催されるが講師とし

保健衛生の爲め
ハイを撲滅せよ
最高捕獲者に賞金を
保健衛生の上に蠅の害毒が如何に甚だしきものであるかは世の既に是れを熟知する處、本社は公衆衛生普及の一助にもと警察署、平町役場、平衛生會等後援の下に「ハイ取り競争」を行ふものであつて本紙五百號

瀧發電所問題にて町長と共に出縣するに際し仙台驛構内エツキス道路の實況を視察する由
新芽を折られ
生長が遅れる
入遠野村の
降雹被害調査
石城郡入遠野村降雹被害につき郡野村技師出張調査を遂げたが山林被害について二十日郡駐在松崎山林技手同村に出張詳細調査を爲したる結果に依れば被害は入遠野村國有林二百町歩石住村十町歩に亘り五寸大の降雹の爲め栗檜等の立木全

部新芽を折られ生長は一年乃至二年位遅れる見込みで損害は莫大な額に上つてゐる而して被害額並に救濟方法は郡當局並びに平營林署で調査中であるが實地調査を遂げた松崎技手は
「五寸大の雹が降つたと噂だけだと思つてゐたが新芽が全部折れてゐるのを見て實際驚いた」と語つてゐた

て東京高等師範山崎教授をはじめ同、中學校教諭があらに及んでゐる
商人の眼先さか
見えない爲めに
米の値が騰つた
石城郡内の在米高
あるきも出來ぬ程である
是れを見て同町に住む日雇業の鈴木松太郎さんはお互ひ同志が衛生の施設に骨を折る事が何より肝要と先づ自分のノミシロを節約し其金を投じて下水堀に完全な板のフタを作つた▼金のある者でも一寸出來ない藝當を体が資本で毎日額に汗を流して得た金の内から公共衛生に奉仕しようとする心掛けは實に美しい▼佐藤衛生區長は近く其筋に申達して行賞を行ふ由である

暑くなつたが
水溫は低い
浴場に人出
石城地方は十五日來天候回復と共にめつろひあつくなり各濱海水浴場はそろそろ人出を見る様になつたが海水はいまだつめたたく水泳には適せぬが廿六七日になれば水泳が出来る様にならう

公共に盡す
尊い汗の結晶
松太郎さんの奉仕
大工町裏の下水堀は此頃の暑さに悪臭鼻をついて顔をそむけずには通り

ナスの効能
眞夏から秋にかけて、我國の臺所を賑す野菜中で、ナスは見逃すことのできないものである。我國には古くから「秋ナス嫁に食はずな」といふ諺があつて一方嫁なるものは輕視され、侮辱されて居つたことを示すと同時に一方秋ナスが如何に甘くて人々の嗜好に適するかも示します。ナス漬、煮ナス、ナスのシギ焼、ゴマアエ、酢漬などは古くから用ひられ來つたものでナスは生でも焼いても煮てもその味一般向であり、これを生理上から見ても、割合に消化宜しく、腎臟、胃腸などの機能を旺盛にする作用があり、血球の活力を増し、腦神經の疲勞を防ぐなどの作用があります。次號からナスの新材料法を申上ます



教授宮入醫學博士の廉價にて滋養になる食物を説いた「新營養論」を實驗して健康上偉大な効果を認め此説を一般に普及せしめんと陰寫版刷に附して友人知己に配布した

増加した
電話料未納
平町の注意
平町に於ける電話架設数は總數四百六十で之が加入中には毎月廿日の納期に電話